

科目名	ロボット工学 I Robotics I			担当教員	田嶋 眞一		
学年	5年	学期	前期	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	12C05_30741	単位区別	履修
学習目標	<p>あらゆる工業分野において、生産の面では産業ロボットによる工程の自動化・省力化が広く浸透し、いまや産業界を支える技術の大きな柱となっている。このロボットマニピュレータの機構解析と制御に関する基礎的事項について理解する。</p> <p>ロボットを制御対象として捉え、制御系設計のもととなるロボットの動特性、すなわち状態方程式（出力方程式）を求める方法を習得する。</p>						
進め方	教科書に沿った講義を行う。授業中適宜演習を行う。復習を忘れないこと。 期間中3回程度のレポート提出を課す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ロボットシステムについて (2) 2. ロボットの機構と図式表現 (2) 3. 物体の位置と姿勢の表現 (2) 4. 同次変換（3次元アフィン変換）(2) 5. リンク座標系の設定 (2) 6. リンク座標系の設定（演習）(2) 7. リンクパラメータ (2)			<p>ロボットの機構を理解し、その図式表現ができる。 D2:1,D2:2,D2:3</p> <p>物体の位置と姿勢の表現を理解し、その取り扱いに慣れる。 D2:1,D2:2,D2:3</p> <p>ロボットに対してリンク座標系を設定し、リンクパラメータを求めることができる。 D2:1,D2:2,D2:3,E2:1,E2:2</p>			
	[前期中間試験] (2)						
	8. 前期中間試験の返却と解説 (2) 9. 順運動学問題（出力方程式）(2) 10. 逆運動学問題 (2) 11. ヤコビ行列 (2) 12. 与えられた手先速度と関節速度 (2) 13. 手先にかかる力と等価な関節駆動力 (2) 14. 前期まとめ (2)			出力方程式を求める順運動学問題を解くことができる。 D2:1,D2:2,D2:3,E2:1,E2:2			
	前期末試験						
	15. 前期末試験の返却と解説 (2)						
評価方法	定期試験を60%、レポートを20%、小テストなどを20%の比率で総合評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目							
教材	教科書：吉川恒夫著 「ロボット制御基礎論」 コロナ社						
備考	ロボット工学Ⅱの履修にはロボット工学Ⅰの履修が必要。わからないことは、授業中適宜質問すること。放課後は、E-mail[tashima@es.kagawa-nct.ac.jp]で予約することが望ましい。						